



2014-2015年度 主題

- 国際会長 Isaac Palathinkal : "Talk less, Do more"
「言葉より行動を」
- アジア会長 岡野泰和 : "Start Future Now"
「未来を始めよう、今すぐに」
- 東日本区理事 田中博之 : 「誇りと喜びを持って」
"With Pride and Pleasure"
- 湘南・沖縄部長 峯尾 舜 : 「一人は皆のために 皆は一人のために」
- クラブ会長 鈴木 茂 : 「親睦!と奉仕!」

2014年11月号 <ワイズ理解>

今月の聖句

「永遠の命とは、唯一のまことの神であられるあなたと、あなたのお遣わしになったイエス・キリストを知ることです。」
ヨハネによる福音書 17 : 3

日時:2014年11月28日18:30~
場所:かけはし都筑
受付:横田孝久
司会:辻 剛
プログラム
開会点鐘 鈴木 茂会長
ワイズソング・信条 一同
今月の聖句 相賀チャブレン
ゲスト・ビジター紹介 司会者
会長挨拶 鈴木 茂会長
卓話「ゲーム理論って何だろう」
首都大学東京大学院
社会科学部 教授
渡辺隆裕先生

各種アピール

スマイル

YMCA報告 生井担当主事
誕生祝い 3日 生井佐智子さん
開会点鐘 鈴木 茂会長

懇親夕食会

会場:ピッツァ サウアトレ クオ
渡辺先生を囲んで、「競馬の勝ち方」など、より踏み込んだお話を親睦を深めましょう!

1月の予定

- 10日(土) 在京ワイズ新年会
13日(火) 事務例会
17日(土) 横Y・Ys 新年会
23日(金) 本例会
(クラブ総会)

<俳句に親しんで>



岡崎さよ子

俳句を学んで十年になりますが 詠んだ句は日記となりました

様々な思いが句に込められて、情景が浮かんで来ます。

俳句は五・七・五の17文字で、必ず季語が一つ入ります。季語のないものは川柳です。

俳句は季節を先取りするので、周りの情景と少しズレがでます。正月から四月は春を詠み、五月から七月は夏を、八月から十月は秋を、そして今紅葉の真っ盛りに冬を詠みます。

季語にはとても素敵な表現があり、<山笑う><山滴る><山装う><山眠る>は、それぞれ山の四季を表しています。また、歳時記には難解漢字が多く、常に電子辞書が手放せません。ほんの一例ですが<蒲公英><木五倍子><心太><海桐花><虎落笛>は、たんぽぽ きぶしとてら とべら もがりぶえ と読みます。

また日本の四季に沿った古くから伝わる行事を詠む事が多々あります。句会は、通常三句から五句を短冊に書き、無記名で出します。出席者全員の句をバラバラに配り、句稿用紙に書いて出席者に廻していきます。順番に廻って来た句稿用紙から、各自気に入った句を選句します。

選ばれない時はがっかりですが、皆に選ばれれば嬉しく、その俳句は輝きます。

“俳句は選ばれて輝く”とは私の所属している会の主催の口癖です。そして“眼前実景”も繰り返されます。

今月、十一月には酉の市が神社で開かれます。その酉の市を詠んでみました。

<お多福の 担がれて行く 酉の市> お粗末さまでございました。

前月データ	
在籍会員数	18名
例会出席者	12名
メンバー	12名
ゲスト	
ビジター	
メイキャップ	5名
月間出席者	17名
出席率	94%
プルタブ	5.0kg

12月例会予告

12月本例会は、例年通り横浜YMCAクリスマスに交流して開催されます。開催日・場所共に変更になりますので、ご注意ください。

本例会:12月18日(木)18:30-20:30

例会場:湘南とつかYMCA

12月事務例会は、9日(火)18:30から田園都筑教会でクラブのクリスマス祝会も兼ねて開催します。事務例会後、会員持ち寄りの飲み物・食べ物で、クリスマスの喜びを共に分かち合います。

<10 月本例会報告>

日時：2014年10月24日（金）18:30～20:00

会場：田園都筑教会

出席者：今城H・T、岡田K・M、鈴木K・S、田中、
林M・S、福島、松本、横田

開会式の後弁当をとり、引き続いて当日のメインテーマである「クラブシンキング」をおこなった。



1) 本例会の持ち方について

当クラブでは発足当時からこれまで、本例会の際、会議終了後全員で場所を変えて会食することを原則として運営してきた。今回、鈴木会長の発案で、会議・会食の持ち方についてアンケートを取り、結果を以下の通りまとめた。

- ① 本例会の際、会議終了後は全員での会食を原則とする。ただし、例会の内容、翌日の行事予定などに鑑みて、会議中に食事(弁当)をとり、事後の懇親会は希望者のみの参加とすることもある。
- ② 会食の際の「飲み会」部分は、原則、フリードリンク(飲み放題)とはせず、各自が、希望のものを注文することとする。この際、「割り勘」はふさわしくないとの意見もあり、支払方法については今後の課題とした。

2) メンバーの拡大について

① 「入会勧誘候補者表」の充実

これまで、同リストの充実が話題になってきたが、メンバー各自が候補者を指名することが困難なことから、実現していなかった。今回、鈴木会長が提案した7名の候補者に、ブリテン発送先の何名か、更に、メンバーの挙げる候補を加えた表を作成し、それぞれ担当を定めて入会の案内を行うこととした。

- ② 退会者の一部ならびに入会勧誘候補者へは、今後とも、ブリテンを郵送する。
- ③ 今後、「卓話」のある例会には、これら候補者並びに、友人知人を積極的に招待する。

3) 各種アピール等

① 第17回チャレン

翌日に控えたチャレンへの出席者確認を行う。

- ② 北Yのバザーが11/3に開催される
 - ③ 部長沖繩公式訪問は、鈴木クラブ会長と今城次期部長の二名が参加する。(11/29-12/1)
 - ④ 来期の部会は当クラブの担当なので、開催日を9月26日(土)と仮決めし、会場としてワークピアを予約した。
- 4) 今城Hの誕生を祝い、会長の閉会点鐘をもって閉会。
(今城高之 記)

<11 月事務例会報告>

日時：2014年11月11日（火）18:30～20:30

会場：田園都筑教会

出席者：今城T、岡崎、岡田K・M、鈴木K・S、田中、
辻Ta・Ts、林M・S、福島、横田

1. 報告連絡

- (1) 11・28(金)本例会⇒司会/辻T、受付・ブリテン/横田、卓話者等を再確認。卓話者の出迎え/今城T(センター南)、(今城T):Y-3の黒澤会長に出席者のアレンジを依頼中(現時点でレスポンスなし)。北Y前・運営委員長茂木雄氏が出席予定。(会長):近日中に皆さんに出欠を伺う(※ 今後は出欠については、欠席の場合み連絡する。返事なき場合は出席とみなす—ことに意識統一した。)当日の懇親会の食事は各自注文する。
- (2) 11/29(土)～30(日)沖繩部長公式訪問・評議会⇒鈴木S、今城T出席を再確認。
- (3) 12/9(火)事務例会⇒(会長):年間予定表の最新版を作成持参する。
- (4) 12/8(木)横浜Yクリスマス会(つづきクラブの本例会扱い)再確認。
- (5) 11月ブリテンの件⇒(林S):お陰さまで原稿は全て揃いました。感謝。

本日の事務例会報告は一両日中に提出。

- (6) 「みんなの家」報告⇒(鈴木K):“COCOの集い”(12/2)。当クラブから5人出席を確認。
- (7) 第26回アジア地域大会(京都)⇒案内資料を回覧。(辻T):区役員会で理事より協力要請があったことを伝える。

2. 協議

- (1) 松本幸三さんからの「横浜つづきクラブ退会願ひ」届出の件⇒会長より「退会願ひ」が回覧され、取り扱いについて全員で討議。(会長)「2回程松本氏と会い、慰留したが翻意させることはできなかった。退会理由は“つづきクラブの奉仕活動になじめず、自分にはできるか自信がない”とのこと。休会扱いに関しては“そこまで否定しない”とのことだった。(結論)残念だが、10月末での「休会扱い」とし、今後3年以内での復帰を期待することとした。なお、会費は本年12月まで納入されているが、2ヶ月分については寄附扱いにするかなど別途検討する。
- (2) クラブの会計担当者について⇒松本さんの休会に伴い会計担当者をどなたにお願いするかにつき様々な候補者の名前が挙がったが辞退されたので、“真に止むを得ざる理由により”鈴木恭子さんが火中の栗を拾って下さることになった。感謝。但し、懇親会などの会費担当は全員で協力してこれに当たることにした。なお、鈴木会長より今年難しいが次年度の会計は引き受けて下さるとの確約がなされた。感謝。
- (3) 北YMCA 交流例会(来年2/27・金)について⇒プログラム編成およびスタッフ等の出席については生井さんに一任する。司会・レポートも生井さん。
- (4) 2015-16年度湘南・沖繩部人事について⇒当クラブとして協力できる人事について議論をし、部長(今城Tで決定

済み)、書記・部会事務局長(林Sをクラブとして承認)、会計(岡田Kをクラブとして承認)。今城次期部長に対し「部事業主査さんは各クラブ会長にできれば担当部門を指定してお願いすべきとリコメンド」。

(5) YOU&I コンサート事務局人事について⇒今城Tより今回で2年担当したし、次年度は湘南・沖縄部長に専念したいのでどなたかに事務局長を交替して頂きたいとの申し出があつた。話し合いの結果、今城H、横田両氏が推薦されたが、横田氏は辞退された。なお、横田氏から会計は続けても良いとの意思表示があつた。本日は今城Hさんも欠席なので最終的には来年1月の事務例会で決めることになった。

(6) 今月のCS活動

①すぷーん:12月の月表示を11から12に変える。その他の変更なし。

②GTL傾聴ボラ:辻TAより第1週の担当について今城Hさんと話合いたい旨の発言あり。

③ぼけっと送迎ボラ:11月は4,14、12月は16のみ。

☆懇親会(嘉門):13名参加。

(辻 剛 記)

＜横浜 YMCA130 周年記念礼拝報告＞

日時 : 2014年10月18日(土) 13:00~14:30

会場 : 日本キリスト教団 横浜指路教会

説教 : 「すべての人が一つとなるために」

日本キリスト教会 横浜海岸教会 上山修平牧師

横浜 YMCA は、横浜海岸教会の青年会員たちによって、1884(明治17)年10月18日、東京、大阪に次いでわが国3番目のYMCAとして創設された。本年度130周年を迎える。これを記念して今年は様々な記念行事が開催された。その中心となる記念礼拝が、誕生日と正に同じ月・日の10月18日に執り行われた。上海、光州、バンコク、ミャンマー、カンボジア、台北、バンクーバー等横浜 YMCA が緊密な関係をもっている海外 YMCA の代表者を含め、総勢250名余の参列があつた。当クラブからは、今城T、今城H、岡田M、鈴木K、辻T、生井T、山添S、鈴木S、林Mの9名が出席した。

記念礼拝は当初、横浜 YMCA 設立にゆかりの深い横浜海岸教会で開催される予定であつたが、同教会が目下耐震工事を兼ねた改装工事を実施中であることから、近隣の横浜指路教会の会堂を使用させていただくことになった。礼拝説教の中で横浜海岸教会の上山修平牧師は、弱者や異質な者を排除する動きが根強く残る現代社会にあつて、すべての人が一つになることを目標に活動を進めている YMCA の役割は極めて大きいことを強調された。

横浜 YMCA は130年の歴史の中で関東大震災(1923年)による甚大な被災や、第二次世界大戦遂行のために受容せざるを得なかった国家の統制と戦中・戦後の混乱など、大きな危機に遭遇した。しかし、ある意味ではそうした危機体験を通して、一段と飛躍してきたことも事実である。そのバネとなつたのは、YMCA が拠りどころとするヨ

ハネによる福音書17:21の「すべての人が一つとなる」ことを目指して、常に弱い者に寄り添う姿勢を貫いてきたことが、時代を越えて世の人びとに理解されたのではないかと思われる。

記念礼拝に引続いて、「平和の祈り」の署名交換の時がもたれた。横浜 YMCA は、1989年3月以来25年間、中国・上海 YMCA と韓国・光州 YMCA との間で「三都市 YMCA 会議」を2年ごとに開催してきたが、今回は横浜 YMCA の当番に当たり、130周年記念式典の時期に合わせて開催することになった。今年の三都市 YMCA 会議の開催にあたり、東北アジアでは最近、領土と歴史認識を巡り国と国との間で緊張が増し、相互の不信感や憎しみが広がっている現実を踏まえ、三都市 YMCA 共同で「東北アジア平和の祈り」が作成された。その「平和の祈り宣言」が各 YMCA のユースたちによって各国語で朗読され、三都市 YMCA の理事・総主事の間で署名交換されたのである。感動的な瞬間であつた。

【東北アジア平和の祈り】

「私たちを 平和を作り出す道具とならせてください」
神様、今東北アジアでは、領土と歴史認識を巡り国と国との間で緊張が増しています。人類の歴史は、平和はもろく、領土問題は悲惨な戦争や紛争に発展することを教えています。

また、この緊張によってそれぞれの国では、信頼や友情ではなく、不信感や憎しみが広がっています。これまで信頼によって互いに成長してきた経済にも多大な影響を与え、生活を脅かされている人々もいます。

私たちは、主イエスの十字架のあがないによって「みんなのものが一つになるように」という平和の教えに従い、それぞれの YMCA が青少年をはじめとして互いに交流し、友情を築いてきました。

互いの YMCA が共に大切にし、築いてきた友情と連帯をさらに強めることができますように。私たちが決して歴史の教訓を忘れませんように。そして過去の経験を忘れずに、未来への道しるべにできますように。全人的な人間としての信頼を回復し、国と国の間にある紛争や諸問題を解決する心と知恵を与えてください。

そして、私たちを 平和をつくり出す道具とならせてください。平和の主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン。

(鈴木 茂 記)

＜次期部長・事業主任研修会に出席して＞

今城高之

去る11月1日、2015年7月1日から始まる年度の東日本区各部部长並びに事業主任の研修会が、四谷の日本 YMCA 同盟会館で開催されました。

東日本区 LT 委員会が催す今回の研修会に参加したのは、受講側が北海道部を除く東日本区6部次期部長と次期4事業主任(地域奉仕、会員増強、国際・交流、ユース)の計10名で、今期理事、次期理事、次々期理事を始

め、現役員ならびに講師、LT 委員を合わせ、総勢 34 名が参加しての、昼食をはさんで約 6 時間の研修でした。



先ず、挨拶に立った田中博之現理事より、Y's 創設者ポール・アレキサンダーによる演説を引用して、ワイズ活動の“Exclusive”について話がありました。(ワイズ読本 45 頁参照)。「排他的」と訳されているこの言葉の真の意味は、Y's メンたるもの、選ばれた者であるべきということと教えられました。また、今期の理事方針に掲げたように、PDCA (Plan, Do, Check, Act) サイクルを常に回して、部、クラブの運営に当たってほしいとの要望がありました。

渡辺次期理事(甲府)は、今やるべきことは会員増強で、各クラブが 1 名増を達成すると全体で 70 名の純増になるとし、各クラブに一層の努力を要請しました。また、現状では「区」の運営は経済的にも厳しく、今後は区の負担を軽減して、その分、「部」を中心とした区の運営をおこなう。「区」は、simple、slim、speed の 3S に心掛ける。また、今後各部の部長を選任するに際しては、単に「順番」などではなく、最もふさわしい人を選んでほしい等の意向が表明されました。

また、過去に国際会長を歴任された藤井寛敏さん(東京江東クラブ)が 1 時間の講演を行い、部長の心得について示唆に富むお話をされました。印象に残った内容をいくつか列記します。

- ・ ワイズにおけるリーダーシップとは、①熱意と責任感を持って率先垂範する、②コミュニケーションを図り、メンバーが動くように「仕向ける」、③自分が喋るより人の話を聞く(他の意見を「採用」する)、④メンバーが意見を言える雰囲気を作る
- ・ ことを進めるには「段取り八分」と心得よ。→きちんと段取りすれば、ことはほぼ成ったも同然。
- ・ ワイズメンたる者、ワイズ活動を生活の中心に据えて「最優先」とする。

この後、次期部長、次期主任に分かれて懇談、質疑が行われ、全体での記念撮影を行って研修プログラムを終えた。その後、館内でメンバー手作りのご馳走で懇親会を開催、19:20 に全行程が終了しました。



<IBC 便り>

デンマーク・ランースクラブのライフさんからお便りがありました。

Dear Friends in Yokohama-Tsuzuki and in Plovdiv.
For a long time I have thought about you, and now it shall be: I will write for you.



Because of Arne's death, we were slowly starting the new Y's Men year. But at the first meeting in August, the members suggested me to be the President one year more, and I accepted. I have the time, so it will go ok. But both the secretary and the vice-president are still working, they both have their own company, and they are very busy. In September we started with a party together with the two clubs in Randers. We were 75 participants, so it was very good. It was in our church and after the service, we had a nice eating with entertainments. Next meeting was a gift from some scouts to our 50 years celebration last year. We visited the scout's house, where they had made a fine dinner for us. Soup made of elderberry, and chicken and potatoes roasted on the fire. It was very delicious and we had a good evening. The next meeting, with our women, is about our city, because the Mayor is coming and will tell us about his way to be a good mayor. He has only been in the council for 10 months until now. So it will be exiting.

Our Christmas-calendar is just now on the way around in all the country. More than 60.000 calendars are printed, so it will give us much money to support scouts, poor people and the Y's Men projects in Denmark and in the world. And much more. Next Friday we will introduce the new calendar for some people from the town council and for the press.

After the death of Arne we now are only 18 members (five are elder than 80) so we are still seeking for new members. It is difficult, but just now we have got one guest, so we hope soon to be 19.

Now I stop, and I send my best greetings and wishes for you all in your clubs.

Yours sincerely

Leif Repsholt, president and member of the World Outlook committee in Randers YMC

横浜つづきクラブ・プロヴィデフクラブのみなさま大変ご無沙汰いたしました。アルネさんが亡くなったため、今年度の活動が出遅れ、8月になって私がいもう一年会長を務めることになりました。書記・副会長は二人とも現役の経営者でとても多忙です。9月には、3クラブ合同例会を持ち、75名の参加で盛会でした。その次の例会は、クラブ 50 周年のお祝いにボーイスカウトが B B Q に招待してくれました。直前の例会は部長訪問があり、国際・区のプロジェク等について話されました。次の例会は、市長をお招きして夫人同伴の例会となります。6 万枚印刷したアドベントカレンダーが売れ行き好調で、この収入が活動の原資となっています。今 80 歳以上 5 名を含み会員数が 18 名となりましたが、直に 19 名となりそうです。皆様のご活躍を祈って筆をおきます。

(抄訳文責 林 茂博 記)

<YOU&Iコンサートの感想>

アスタPC 小林優弥

普段クラシックを生で聴く機会がなかなかないので、コンサートに行けたことが嬉しかったです。演奏も歌も迫力があって、とても驚きました。

特に「裸の王さま」は、見ていて笑えるところがたくさんあって面白かったです。

僕も歌が好きで、歌手を目指しています。ジャンルは違いますが、改めて歌うことの難しさや楽しさを知ることが出来、とても良い勉強になりました。

また次回も行きたいです。



(小林優弥さんとアスタPCのスタッフの方々)

<第20回福祉農園(芋ほり)に参加して>

「秋の一日、障がいのある人もない人も一緒に楽しみましょう！」

10月19日(日)恒例の福祉農園に行ってきました。私たちのクラブは、都筑区社会福祉協議会ボランティア部に所属していますので、部会活動へのクラブ参加です。

当日は晴天で、参加も多かったです。今年はサツマイモが不作で追加支給の仕事に忙しかったです。

しかし参加した人は皆喜んでいました。つづきワイズよりは岡田(K)岡田(M)、アーモンドコミュニティからも参加しました。広場には地域作業所ネットワークを通して多くの店が出ました。アスタPCも作品を並べました。

色々な人との交流がありました。私のグループに若者が2名いました。里山ボランティアその他色々な活動に参加しているとのことでした。この福祉農園も地元農家の若者たちのボランティアで行われています。都筑区社協や地域活動支援センターのネットワークの広さと力強さに感心しました。またこの様な活動に多くの若者が参加していると思いました。(岡田美和 記)

**<第17回 横浜YMCAインターナショナル
チャリティランに参加して>**

秋晴れの10月25日、絶好のチャリラン日和！我らがクラブも例年とお受付と弁当・お茶の配布係の責務を担うべく9時前には現地に集合。(メンバーは大会副実行委員長の今城Tワイズをはじめ岡崎、岡田K・M、鈴木K・S、生井、林S・M、福島、松本、山添、横田、今城H各ワイズ)

オープニングセレモニーの声を聞きながら次々と来場する方々の受付をこなし、お弁当とお茶を5個ずつ袋詰めにして並べる作業を終える。



10:45にはCコースがスタートし、可愛い子ども達が一生けん命に走ってくるのを微笑ましく見ながら応援。孫を見るジイジ・バアバの心境。

続いてBコースが11:10頃スタート。我らがクラブがスポンサーの「みんなの家」と「アスタPC」がエントリーしているグループ。応援にも気合が入りコースの前まで出張って大声で「がんばれー、がんばれー」と叫びまくる。みんな、本当に頑張ってる良い走りをしている。残念なのはアンカーがゴールインするところを見られないこと。11:40頃にはAコースがスタートし、さすがにスポーツを専門とする若者や社会人グループの鍛えられた人達が多く、スピードが違いました！

無事に事故もなく全員が走り終え、しばしの休息と昼食の時。「みんなの家」「アスタPC」の皆さんに「お疲れ様！」のご挨拶をする。選手の皆さんも、ご家族の方や付添の方々も走り終えた満足感とホッとした安心感で笑顔が見られ、応援した私たちも感謝と嬉しさで満たされた。

13時には閉会式が始まり競技表彰、特別賞表彰が峯尾大会実行委員長からなされた。なんとサプライズ！「アスタPC」が特別賞「最後までがんばったで賞」を受賞し、歓声が上がりました。

寄付金目録渡し、田口総事務の感謝の挨拶に続き今城大会副実行委員長の、「ランナー、ご家族、お友達、ボランティア、スポンサーへの感謝。そして今日のふれあい、今日の思いやりを忘れずに来年のチャリランで再会しましょう！」との閉会挨拶をもって終了となった。その後の抽選会で何か当たった方、おめでとうございま〜す！皆様、本当にお疲れ様でした。(今城宏子 記)

<YMCAチャリティランに参加して>

アスタPC 小池裕也

初めてチャリティランに参加しました。ずっと本番前から楽しみにしていました。

最初800mだから、体力的に大丈夫だろうとばかり思っていました。しかし、直前にサイダーを飲んで、変装マスクをして走り、道がガタガタだったので、予想を超える大変さでした。トップランナーとして、もう少しペースを上げたかったけど、折り返し地点でとても苦し

くなり、必死に走りました。

ゴールした時、気分が悪くなり、後の人たちの走りをしっかり見れなかったのが残念でした。けれど、みんな楽しく走れて良かったです。

特別賞もいただけて嬉しかったです。みんなで頑張ったかきがありました。来年も出場するとしたら、変装マスクをしないで、もっとまじめに頑張りたいと思いました。メンバーを集めて、来年も出場したいと思っています。今回は、こんなに楽しい企画に声をかけていただき、ありがとうございました。



(前列左から小池・小林・本間、後列左古谷各メンバー右端はスタッフ)

私のCSボランティア活動 (その3)

<江田福祉ホーム(作業所)>



辻 孝子

改めてお話するほどの活動はできていませんが、ささやかな奉仕をさせていただいております。

まず、横浜つづきクラブとして、GTL 傾聴ボラ、“スプーン” 調理ボラを皆様と一緒に楽しんでさせていただいております。

個人的には“すぷーん”の5人の利用者さんが通っている江田福祉ホーム(作業所)へ週1回行っております。これはつづきクラブがスタートして間もない頃、鈴木恭子さんが卓話者として江田福祉ホームでのボランティア活動のお話しをされました。そのときに「誰かお手伝いして下さる方はいませんか?」と云われました。私は洋裁の心得がありましたのですぐに手を挙げ、仲の良い友達と二人で伺うことになりました。どんなボランティアかと云いますと、利用者さんが古い着物地を細かく裂いたもので織物を作ります(裂織)。体の不自由な方たちが大きな織り機を使って長い織物を仕上げるのは大変な作業です。私たちはその布でバッグ、ベスト、小物などに仕立てることをしています。織られる方たちの大変さを思って、少しでも素敵な製品を作りたいと努力しています。

振り返ってみますと恭子さんの後を引き継いで、いつの間にか8~9年にもなりました。長くやってこれたのは障害を持った方たちの笑顔のお陰かと思っています。小さなボランティアでもできることは感謝です。

<横浜北YMCAだより>

横浜YMCA130周年記念式典も終え、11月に入り、YMCAでは、北Yまつり(11/3無事終了)、平和月間、国際・地域協力募金活動が始まります。

北Yまつりにもワイズの皆さんをはじめ、多くのボランティアの方々に関わっていただき、この活動を一緒に守っていただけたことに感謝を覚えます。当日の来場者の方々がとても多かったことも驚きましたが、この北Yまつりの運営に関わってくださった団体等の多さにも驚いています。駐輪場の催しだけでも6団体、会館内では、うたごえ広場の方や近隣諸団体、運営委員の方々など13のグループや団体の方々にお支えいただいたことに、あらためて感謝を覚えます。北YMCA約40年の歩みの中での“つながり”を感じました。



(綿菓子の行列は、一日中途切れませんでした)

11月には、光州YMCAとの短期研修交流プログラムが11月17日~21日の5日間の実施予定で準備が進められています。この韓国・光州との交流事業は、1976年から両国の同盟で交流事業についての検討・協議がされ、1977年光州の方々の横浜訪問を受け、翌年の1978年春に訪韓サッカー交流が実現し、光州YMCAとの交流が始まりました。

少年サッカー交流事業から始まり、2002年ではスタッフの長期研修の受入れや2004年からは、光州短期研修団の派遣を進め、この派遣も今年で11回目となります。実際に交流が始まって36年間、国同士の関係では領土問題や歴史認識をめぐる緊張が高まっています。その中でも、こうした市民レベルの“平和へのつながり”をさらに進めていくことを通して「公正で平和な社会の実現」へとつながっているのだと強く感じています。

今回、横浜YMCA130周年を記念して光州から「平和の鐘」が贈られ、富士山YMCAに設置されました。平和への願いと祈りが、この鐘の音と共に多くの人たちの心に届くよう、さらに活動を進めていきたいと考えています。

《12月の主な行事予定》

12月 9日	うたごえ広場
12月14日	北YMCAクリスマス
12月16日	横浜YMCAクリスマス礼拝

(横浜北YMCA 館長 生井知三 記)